

東アジア地方政府会合 実行委員会



平城遷都
1300年
記念事業

平成21年1月15日

奈良県

設立趣旨

- 平成22年に、平城遷都1300年を記念し、わが国及び東アジア諸国の良好な関係に資する一連の会合「東アジア未来会議奈良2010」を奈良で開催する。
- 現在の東アジアは、平城遷都が行われた当時を彷彿とさせるダイナミックな時代を迎えつつある。「東アジア未来会議奈良2010」は、往時、近隣諸国とのお付き合いに気を遣い、国内の政治的混乱を收拾し、その後現在まで連綿と続く国家の基本的枠組みを構築した先人の労苦を思い起こしつつ、今後のわが国と東アジアの平和と発展の土台を築き、その道筋を確立しようとするものである。
- 特に、その中心的会合として、歴史的にも、地域的にも関係の深い日本、中国、韓国を中心とする地方政府が集い「東アジア共同体」における地方間交流の体制構築も視野に入れつつ持続的な連携協力体制の確立を希求する「東アジア地方政府会合」を開催する。
- このような東アジア地方政府間の会合が、継続的に開催され、わが国の将来の安寧と繁栄の基盤である安定した外交に寄与するとの所期の目的を達成するため「東アジア地方政府会合実行委員会」を設立するものである。

委員(会)構成

- 本委員会は、外交・国際関係や地方振興等に関する専門家で構成し、役員として、委員長、副委員長、幹事を置く。
- 委員長は石原信雄氏、副委員長は佐藤行雄氏、谷野作太郎氏とし、幹事は、委員の中から設立総会において選任する。
- 本委員会委員(案)は別紙のとおり。なお、今後会合の開催に必要な技術的・専門的人材の参加を求めていく。

活動

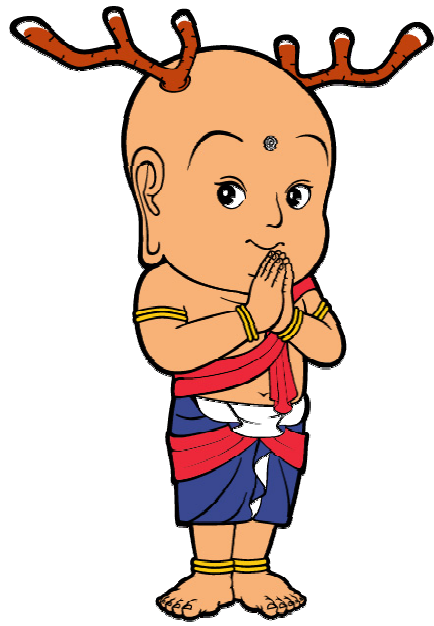
- 本委員会は、「東アジア地方政府会合」の実施計画案の策定等の企画・他主体との調整を含む開催の準備・実施運営及び会合の継続的開催に向けた諸調整を行うこととする。

- 本委員会活動は平成22年度末までとし、幹事会は毎月1回程度開催し、実施計画等の策定及び進捗状況の把握を行うこととし、全体会合は年1回程度開催し、毎年の活動内容を決定することとする。

- 2009年秋を目途に、奈良県及び中国・韓国の地方政府(数団体)による本会合の準備会を開催し、以下を決定する。
 - (1) 本会合のコンセプトの再確認と共有
 - (2) 「東アジア地方政府会議」構築を視野に入れた本会合の到達目標
 - (3) 本会合での最終生産物(アジェンダ等)のイメージング
 - (4) アジェンダ等のフォローアップ、及び当面の会合継続化に向けた制度設計

事務局

- 本委員会の事務局は奈良県(平城遷都1300年記念事業推進局)が担任する。



奈良県